

開設チェックシート

決めることの記入シート、アカウント名12業種、入力項目一覧、認証済の早見までの7枚

この7枚でできること

- ☐ 作成フォームを開く前に、決めることを全部紙の上で決めておける
- ☐ 自分の業種に近い例を見て、20字に収まり、探されやすいアカウント名を決められる
- ☐ 入力項目ごとに何を入れるか分かり、途中で手が止まらない
- ☐ あとから変えると手間がかかること、影響が出ることを先に避けられる

使う順番

2ページを埋める → 3ページでアカウント名を決める → 4ページを見ながら作成フォームに入れる → 5ページで開設直後の3つを確かめる → 6ページで認証済を申請するか決める。

開設そのものは10分ほどで終わり、費用はかかりません。迷うのは会社・店舗の情報を入れるところだけです。

目次

2	開設の前に決めることシート 友だちにやってほしいこと、集める場所、運用する人、ログインIDの選び方、アカウントの分け方
3	アカウント名の例と記入マス 12業種の名前の例（20字まで、前半10字で何の店か分かる形）と、避けたい例
4	作成フォームの入力項目一覧 手順3で入れる7項目の文字数と決め方、運用目的7つから1つか2つを選ぶ欄
5	申し込みと開設直後の確認 3ステップの流れ、パソコンとスマホの使い分け、開設直後に見る3つ
6	認証済アカウントの早見と、あとで困ること 申請するか判断、開設できない業種の確認先、変えると影響が出ること
7	開設のあとにやることと、よくある質問 友だちを集める前にやること、よく聞かれる6つの答え

数字と決まりの出どころ

文字数の上限、選択肢の数、プレミアムIDの料金などは、記事「LINE公式アカウントの作り方」に書いた内容（LINEやフー公式の情報と、実際の作成フォームの画面で確かめたもの）だけを載せています。内容は2026年10月1日時点の記事に基づきます。フォームの表示や料金は変わることがあるので、開設する前に画面の表示を確かめてください。アカウント名の例はどれも架空の店です。

手元にそろえておくもの

メールアドレス（または個人のLINEアカウント）、アカウント名、会社名または事業者名、業種の4つです。法人でなくても、屋号がなくても作れます。

開設の前に決めることシート

作成フォームを開く前に、ここを埋める

必要なものはメールアドレス（または個人のLINEアカウント）、アカウント名、会社名または事業者名、業種の4つだけです。法人でなくても、屋号がなくても作れます。未認証アカウントなら書類の提出も要りません。

1. 友だちにやってほしいことは何か（1つか2つ）

ここがそのまま、作成フォームの「運用目的」の答えになります。

2. どこで友だちを集めるか

アカウントを作っただけでは友だちは増えません。店舗ならレジ横のPOPとテーブルのQRコード、サイトならフッターと問い合わせ完了ページ。

3. 誰が運用するか

配信を作る人		チャットに返信する人	
--------	--	------------	--

4. ログインIDをどちらで作るか

☐	会社で使う共有のメールアドレス（記事の推奨）	担当者が変わってもログイン情報を引き継げる。複数人で管理しやすい
☐	個人のLINEアカウント	手間は少ないが、そのアカウントを持っている人しかログインできない。担当者が辞めたときに面倒になる

どちらを選んでも、作れるアカウントの機能に差はありません。あとから変更するのは手間なので、ここは最初に決めます。

使うメールアドレス

5. アカウントを店舗ごとに分けるか

☐	1つにまとめる	どの店舗にも同じ内容を送るだけなら。運用が楽で、通数も節約できる
☐	店舗・ブランドごとに分ける	配信する内容が店舗ごとに違うなら。1つのビジネスIDで複数のアカウントを作れる

分けて作るときは、管理画面のアカウントリストにある「作成」から追加します。

6. 開設する日と、友だちを集め始める日

開設する日	年 月 日	友だちを集め始める日	年 月 日
-------	-------	------------	-------

間にプロフィール、あいさつメッセージ、応答メッセージを整える時間をとります（7ページ）。

アカウント名の例と記入マス

20文字まで。友だちのトーク画面に表示される名前

決め方のコツは3つです。**検索されそうな言葉を入れる**（認証済にするとLINEアプリ内で検索されるようになり、「株式会社〇〇」より「〇〇美容室 渋谷店」のほうが見つかる）。**長くしない**（トークリストでは途中で切れるので、前半10文字で何のアカウントか分かるように）。**最初に決め切る**（変えられるが、急に変わると誰だか分からなくなる）。

業種	アカウント名の例（色の部分が前半10文字）	文字数	探される言葉
飲食店	炭火焼鳥 とりまる 中野店	13字	焼鳥
美容室・サロン	ヘアサロン ルシェ 渋谷店	13字	ヘアサロン
小売	雑貨と器の店 こもれば 吉祥寺	15字	雑貨
教室・スクール	こども英語教室 ブルーム 府中校	16字	英語教室
士業	みどり税理士事務所 立川	12字	税理士
ネイルサロン	ネイルサロン リリィ 吉祥寺	14字	ネイル
整体	整体院 はるか 荻窪	10字	整体
学習塾	個別指導塾 まなびや 三鷹校	14字	塾
工務店	森田工務店 住まいのリフォーム	15字	工務店
写真スタジオ	写真館 ひなた 七五三と家族写真	16字	写真館
ペットサロン	犬の美容室 ぽぷら 国立店	13字	犬の美容室
パン屋	パン工房 こむぎ 武蔵小金井	14字	パン

避けたい名前

株式会社ホシノ・クリエイションズ 公式アカウント 24字	20文字を超える。前半10文字で何の店か分からない
株式会社ハルタ商事 9字	会社名だけでは、店名や業種で探す人に見つからない

自分のアカウント名（1マス1文字・色のマスが前半10文字）

案1

				5					10					15					20
--	--	--	--	---	--	--	--	--	----	--	--	--	--	----	--	--	--	--	----

案2

				5					10					15					20
--	--	--	--	---	--	--	--	--	----	--	--	--	--	----	--	--	--	--	----

前半10文字に、何の店か分かる言葉が入っているか。迷ったら「業種の言葉 + 店名 + 場所」の順で並べます。

作成フォームの入力項目一覧

記事の手順3の順。上から埋める

ビジネスIDでLINE Official Account Managerにログイン → アカ운트리ストの左のメニュー「作成」から作成フォームに進みます。上に3ステップの進捗が出て、最初が「会社・店舗情報を登録」です。

項目	決まり	何を入れるか	あとで困ること
アカウント名	必須・20文字まで	友だちリストとトーク画面に表示される。友だちが見るのはこの名前	変えられるが、トークリストで急に変わると誰だか分からなくなる
メールアドレス	必須	ログインに使ったものが自動で入る。連絡用なので確実に受け取れるもの	
所在国・地域	必須	日本を選ぶ。プロフィールに表示される	
会社・事業者名	100文字まで	正式な会社名。個人事業なら屋号か氏名。アカウント名とは別で、プロフィールに出る	
業種	必須・大業種と小業種	実態どおりに選ぶ。審査と、使えない業種の判定に関わる	実態と違うものを選ぶと、あとで問題になる
運用目的	必須・複数可・7つから	本当にやりたいことを1つか2つ	全部選ぶと、管理画面に出る案内が役に立たなくなる
主な使い方	必須	メッセージ配信用か、それ以外か。多くはメッセージ配信用	

運用目的（1つか2つに印をつける）

- ☐ お店を知ってもらいたい、興味を持ってもらいたい
- ☐ 来店してもらいたい、リピーターになってもらいたい
- ☐ 潜在顧客・見込み顧客を集めたい
- ☐ お問い合わせに対応したい、お客さんとチャットしたい
- ☐ ホームページ・SNSの代替として使いたい
- ☐ サイトに人を集めたい、登録してもらいたい
- ☐ その他

2ページの「友だちにやってほしいこと」と同じものを選びます。絞ったほうが、管理画面に出てくる案内が役に立ちます。

記入欄

会社・事業者名			
大業種		小業種	
主な使い方	メッセージ配信用 ・ それ以外		

申し込みと開設直後の確認

開設そのものは10分ほど

全体は3ステップ

1. ビジネスIDの登録

公式の開設ページで「LINE公式アカウントをはじめる」を押す。メールアドレスか個人のLINEで登録。画面の指示どおりに進めれば終わる

2. 会社・店舗の情報

迷うのはここだけ。4ページの7項目を入れる。入力のと、入力内容の確認に進む

3. 申し込みの完了

入力内容を確認して確定する。完了が出れば開設は終わり

パソコンとスマホの使い分け

スマホの管理アプリからも作れますが、開設はパソコンでやることを強く勧めます。入力項目が多く、開設の直後にプロフィールやあいさつメッセージの設定が続くからです。

作業	向いている端末	作業	向いている端末
開設	パソコン	ステップ配信の設計	パソコン
プロフィールの設定	パソコン	チャットの返信	スマホ
リッチメニューの作成	パソコン	配信の状況確認	スマホ
クーポンの発行	どちらでも		

開設した直後に確認する3つ（友だちを集める前に・どれも1分）

☐	プランが無料になっているか	開設した時点では自動的にコミュニケーションプラン（月額0円）。管理画面の上部にプラン名が出ている。有料にしたいときは開設のあとで自分で変更する
☐	アカウントのIDを控えたか	@に続く英数字。開設時に自動で発行され、友だち追加のURLやQRコードの元
☐	あいさつメッセージが初期のままか	テンプレートの文面が入っていて、このままだと追加した人に定型文が届く。書き換えてから友だちを集める

アカウントのID	@	開設した日	年 月 日
表示されたプラン名		あいさつを直した日	年 月 日

好きな文字列のIDにしたいとき

プレミアムIDという有料オプションがあります。月100円または年1,200円（税別）。チラシや名刺にIDを載せるなら取る価値がありますが、急ぎではありません。

認証済アカウントの早見と、あとで困ること

開設した時点では未認証アカウント

	未認証アカウント	認証済アカウント
開設	申請なしですぐ	開設後に申請して審査
費用	無料	申請も利用も無料
LINEアプリ内の検索	表示されない	表示される
支払い方法	クレジットカード	請求書払いも使える
バッジの色	グレー	青

申請するか判断（どちらかに当てはまれば申請）

☐	店舗があり、来店客に見つけてほしい	LINEアプリの中で店名で検索してもらえるかどうかは、友だちの増え方に直接効く
☐	法人で、請求書払いが必要	経理の都合でクレジットカードが使えない会社は、認証済でないと有料プランの支払いができない

どちらにも当てはまらないなら、未認証のままで支障ありません。

認証済を申請するか	する ・ しない	申請した日	年 月 日
-----------	----------	-------	-------------

開設できない業種の確認先

LINEヤフーが定めた条件に当てはまらない業種やサービスは、開設できないか、途中で利用を止められることがあります。種類は変わることがあるので、この特典では列举しません。**確認する場所 → LINEヤフー for Business のサイト内にあるガイドラインのページ**。自社が該当するか微妙だと感じたら、開設する前に確認します。

☐ ガイドラインを確認した（確認した日 年 月 日）

あとで変えると手間・影響が出ること、標準ではできないこと

ログインIDの選び方	あとから変更するのは手間。会社の共有メールアドレスで最初から作る
アカウント名を変える	変えられるが、友だちのトークリストで急に名前が変わると誰だか分からなくなる。変えるなら、変える理由を配信で伝えてから
業種を実態と違って選ぶ	あとで問題になる。使えない業種を避けるために変えるのは絶対にやめる。発覚したときの損失のほうが大きい
運用を始めてから止められる	開設できない業種に当たると、集めた友だちごと失う。だから開設の前にガイドラインを確認する
IDを好きな文字列にする	自動で発行されるIDは選べない。好きな文字列は有料のプレミアムID
未認証のまま検索に出す	できない。LINEアプリ内の検索に出るのは認証済アカウントだけ

開設のあとにやることと、よくある質問

友だちを集めるのは、整えてから

友だちを集める前にやる3つ

この3つを整えてから友だちを集めると、最初の1人目から取りこぼしがなくなります。どれもパソコンでやるのが速いです。

	やること	メモ	済んだ日
☐	プロフィール		
☐	あいさつメッセージ		
☐	応答メッセージ		

開設したのに友だちが増えないとき

つまづきというより順番の問題です。2ページで決めた「集める場所」に、QRコードやURLを置いたかを確認めます。

☐	店舗 → レジ横のPOP	
☐	店舗 → テーブルのQRコード	
☐	サイト → フッター	
☐	サイト → 問い合わせ完了ページ	

よくある質問

個人でも作れますか	作れます。法人である必要も、屋号がある必要もありません
費用はかかりますか	開設に費用はかかりません。開設した時点では月額0円の無料プランです
書類の提出は必要ですか	未認証アカウントの開設に書類は不要です
どれくらい時間がかかりますか	入力自体は10分ほど。未認証なら審査を待たずにすぐ使えます。認証済を申請する場合は審査の時間がかかります
個人のLINEと連携させる必要はありますか	必要ありません。メールアドレスだけで登録できます
開設したら友だちに通知されますか	されません。QRコードやURLを案内してはじめて追加できるようになります

開設から初期設定まで相談したい方へ

アカウント名や業種の選び方、開設後の初期設定までまとめて相談したい方は、この特典を受け取った公式LINEにそのままメッセージをください。お店の状況をうかがってからお返事します。